

目をつむる写真展

滋賀⇄京都 2022

—境界を超えて—

巡回展 FINAL



“Eyes Closed” Photo Exhibition, Shiga⇄Kyoto, 2022: Beyond boundaries

2022年 **11**月**25**日 [金] – **12**月**18**日 [日]

10:00–18:00 休館日：月曜日・火曜日

東近江市 **能登川博物館**

主催：一般社団法人ヴァリアスコネクションズ

後援：滋賀県／京都市／京都市教育委員会／京都府社会福祉協議会／京都新聞社会福祉事業団

助成：公益財団法人倶進会

目をつむる写真展 滋賀⇄京都2022 —境界を超えて— 巡回展 FINAL

「目をつむる写真展」は、2015年に京都市山科区でスタートし、これまで京都、静岡で計4回開催し、年齢、性別、国籍、障がいの有無を超えた約2000人の人たちが共に目をつむりました。

そして第5回のテーマは「境界を超えて」。昨年に静岡で開催した「目をつむる写真展2021」でご縁のあった滋賀県東近江市の障がい者支援施設「止揚学園」から撮影が始まり、東近江から滋賀へ、そして京都へと様々な“境界を超えた”つながりの輪を広げていきます。

目をつむると、普段見られない表情が浮かび上がります。そしてその表情から、その人の新たな一面に気づくことができるでしょう。また、目をつむることは寛容を表すメタファーでもあります。さらに、瞑目が祈りに通じるように、その表情は心の目をひらき、自分を見つめ、他者への信頼に満ちています。

目をつむることに思いを巡らせながら、本展を通じて、人との関わりを見直すきっかけになったり、見えない「つながり」を感じたり、新たな「つながり」が生まれることを願っています。



企画：成実 憲一 / Kenichi Narumi

1971年、京都市生まれ。1994年、静岡大学教育学部卒業。一般社団法人ヴァリアスコネクションズ理事長。大学卒業後、アート、写真、福祉が交差する展覧会やワークショップを多数企画。2015年から「目をつむる写真展」を開催(2015・2016・2018・2021)。2017年から障がいのある人たちの社会参加を目的にしたカメラサークル「だれでもカメラ部」を主宰。

日時：2022年11月25日 [金] - 12月18日 [日] 10:00 - 18:00 / 休館日：月曜日・火曜日

入場料：無料

会場：東近江市 能登川博物館

■「目をつむる写真展 滋賀⇄京都2022 —境界を超えて—」

【京都国際写真祭サテライトイベントKG+】

2022年4月12日 [火] - 4月23日 [土]

会場：ギャラリー16 (京都市)

【巡回展 Part1】2022年5月3日 [火] - 5月8日 [日]

会場：kokoka京都市国際交流会館 2F回廊 (京都市)

【巡回展 Part2】2022年6月12日 [日] - 7月8日 [金]

会場：愛荘町立ハーティーセンター 秦荘 (滋賀県愛知郡愛荘町)

【巡回展 Part3】2022年9月18日 [日] - 10月18日 [火]

会場：イオンモール草津3階 プティマイン横 (滋賀県草津市)

お問い合わせ：一般社団法人ヴァリアスコネクションズ

〒606-8411 京都市左京区浄土寺東田町67番地1 ジュンヒル106

TEL. 075-741-8517 FAX. 075-741-8748

MAIL. info@various-c.com WEB. http://www.various-c.com

【公共交通機関でお越しの場合】

- JR琵琶湖線 能登川駅下車、駅西口より徒歩約12分。
- 能登川駅西口よりちよこっとバスで4分(大中線 図書館前下車)

【お車で越しの場合】

- 名神八日市ICより車で約25分、国道8号線築瀬交差点を琵琶湖方面に約6km



東近江市 能登川博物館

滋賀県東近江市山路町2225番地

TEL. 0748-42-6761 FAX. 0748-42-8123

WEB. <https://e-omi-muse.com/notohaku/index.html>